

令和3年度

恵那北小学校だより

6月20日号



げんきたっ子

読み聞かせて絆づくり

伊地知みゆき

4月第1回の授業参観・懇談会の折に、PTA学級委員さんからの読み聞かせ協力の呼び掛けに、たくさんの方が参加を申し出てくださいました。おかげさまで1,2学期にある読み聞かせ週間中、どのクラスもお家の方に来ていただけるようになっています。

6月上旬に1回目の読み聞かせが行われました。始まる前から嬉しそうな子供たちでした。特に低学年にとって学校で行うお家の方からの読み聞かせは、特別です。

読み聞かせの効果は多々言われています。脳を刺激し、活性化する。想像力が豊かになる。心が豊かになる。語彙が豊富になる。集中力がアップする。読解力がつく。学力向上…。

子供だけではなく、読み手にもプラス効果があると言われています。親子の絆が深まる。読み手の脳トレになる。子供たちの成長の手助けになる。貢献活動…。

本校では以前から地域の方の読み聞かせのボランティア活動が盛んだったと聞いています。高齢化が進み、更にコロナ禍で今は実施が難しいですが、新しい形で読み聞かせ活動が広まり、読み手と聞き手の絆が深まり心豊かな生き方に繋がることを願います。



花育て支援ありがとうございます

今年度も笠置町青少年育成町民会議様のご支援、ご協力を得て、校内の花壇の夏の花苗を植えることができました。3年生がふるさと学習の一環として昨年度から取り組んでいる活動です。

「花いっぱいのもくく美しい街にしよう」という地域の方の願いを共有し、3年生を中心に学校の花壇で花を育てていきます。

朝のバス停で

子供たちは、元気よく挨拶をしてくる子、眠そうな表情の子、少しうつむき加減の子など三者三様の姿で登校してきます。表情に現れる内面を少しでも理解しようと声をかけています。ある朝、体の半分くらいある虫かごを抱えながらバスを降りて来た男の子は、私と目が合うと「にやり」。「にっこり」ではなく「にやり」の表情に虫かごを使う活動に対するその子の意気込みを感じました。学校で一緒に過ごす間、私たち学校職員は子供たちの声、表情、動きなどから、その子の気持ちに思いを巡らせています。昨年度本校ではじめの認知はありませんでしたが、それでも様々な理由で一人悩んでいる子がいたかもしれません。これからも子供たちの様子を注意深く見守りながら、保護者や地域の方に支えていただき、一緒に子供たちのよりよい成長を促したいと考えます。少しでも違和感のある子供の姿がありましたら、学校へお伝えください。

